

報道関係各位

No.16-2007



働くアトピー性皮膚炎有症者女性の90.6%が 「無意識に患部を傷つける何らかの行動をとっている」と回答 — 20代、30代働く女性のアトピー性皮膚炎に関する悩みレポート —

アトピー有症者向けケータイサイト「eQOL(イコール)スキンケア」を運営する株式会社ネクスト(本社:東京都港区、代表取締役社長:井上高志、東証第一部:2120)は、20代～30代の働くアトピー性皮膚炎疾患を持つ女性(以下アトピー性皮膚炎有症者女性)1,000人を対象に、「掻破行動」(*)の観点からオフィスや日常生活におけるアトピー性皮膚炎関連の悩みやストレスに関するアンケートを実施いたしました。つきましては調査結果をまとめましたので、ご報告いたします。

※「掻破行動」とは、かゆくなくても無意識に掻く、こする、たたく、むしる等のアトピー性皮膚炎有症者が生活の中で習慣化している行為を一連の行動としてとらえ、治療に反映させるための医学的な概念です。

<調査概要>

調査地域 : 全国47都道府県
調査対象 : 現在「アトピー性皮膚炎」の疾患、並びに直近一年間でかゆみなどの自覚症状が継続的にある20代、30代の有職者女性
調査手法 : インターネット調査
調査時期 : 2011年01月07日(金)～2011年01月12日(水)
有効回答数 : 1,000人(20代女性277人、30代女性723人)

<主な調査結果>

1. 回答者全体の90.6%が「無意識に患部を傷つける何らかの行動をとっている」と回答

一般的に「子供の皮膚病」と認識されがちなアトピー性皮膚炎ですが、回答者全体の15.3%が「19歳以上になって発症」と回答しています。有職者という回答者条件から自覚症状が「重度」の回答者出現割合は比較的少ない調査結果ですが、それでも回答者全体の90.6%が「日常的にかゆくない時でも無意識に患部を傷つける何らかの行動をとっている」と回答しています。

2. 働くアトピー性皮膚炎有症者女性共通の悩みは「メイク」、「ファッション」の制約

回答者全体の65.2%が「通勤時・勤務中にアトピー性皮膚炎が原因の不便さを感じている」と回答。社会人としての身だしなみに関わる「メイクが薄い・できないこと」(36.5%)、「ファッションが限られること」(28.2%)などがストレス要因として高く挙げられます。症状の度合いに関わらず「紙や書類を触ること」「空調が気になるが言い出せないこと」も働くアトピー性皮膚炎有症者女性共通の悩みとなっています。

3. アトピー性皮膚炎が原因で恋愛・結婚に関して「自分に自信が持てない」と感じている傾向 子育て女性のストレスは「子どもがアトピー性皮膚炎にかかることへの不安」に集中

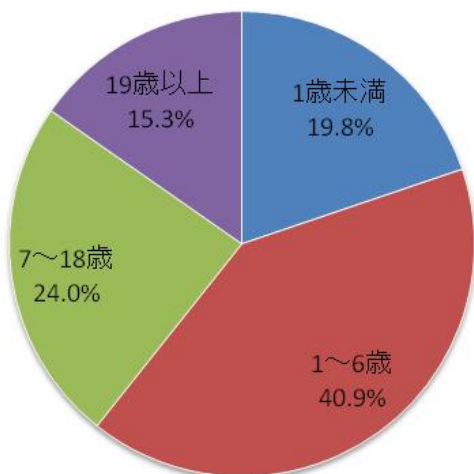
回答者全体の60.5%が「恋愛や結婚に関してアトピー性皮膚炎が原因で不便や引け目を感じている」と回答。症状の重さを問わず、回答理由の半数以上は「自分に自信が持てない」こと(50.2%)に集中しています。また子どもを持つ回答者については73.3%が「育児に関して不便さや引け目を感じる」と回答。「自分の子どもがアトピー性皮膚炎にかかるのではないかと不安」(85.9%)が子どもを持つ回答者の大きな不安要因となっています。

4. 「アトピー性皮膚炎に関する悩みやストレスを解消できていると思う相談相手」は、 「家族」が51.0%、「医師・薬剤師」が22.4%

回答者のQOL(生活の質)に関して自己採点を行ったところ、アトピー性皮膚炎が原因で生じる日常生活や人間関係の自覚ストレスレベルによって、QOL自己採点点数に大きな差異が表れました。「ストレスを解消できていると感じる相談相手」はトップが「家族」(51.0%)、次いで「医師・薬剤師」(22.4%)という結果でした。

1. 回答者全体の90.6%が「無意識に患部を傷つける何らかの行動をとっている」と回答

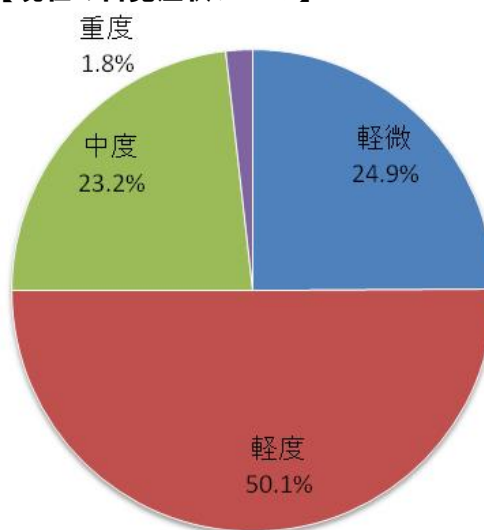
【アトピー性皮膚炎の発症時期】



(有職者アトピー性皮膚炎有症者女性:1,000人)

一般的に「子供の皮膚病」、「子供の頃に発症する皮膚病」と思われがちなアトピー性皮膚炎ですが、20代、30代のアトピー性皮膚炎有症者女性に発症時期について尋ねてみたところ、**24.0%が小学校入学年齢～18歳までの間に発症、15.3%が19歳以上の年齢になってから発症と回答しています。**

【現在の自覚症状レベル】



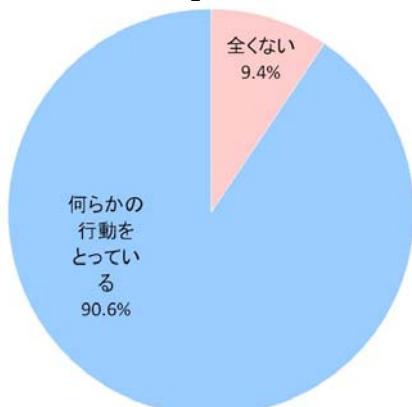
(有職者アトピー性皮膚炎有症者女性:1,000人)

現在の自覚症状レベルについては、「軽度」であるとする回答者が全体の50.1%と過半数を占め、「軽微」～「軽度」レベルの自覚症状とする回答が全体の75.0%となっています。
現在働いている女性、という回答者属性の特徴によるものか、自覚症状を「重度」であるとする回答者の割合は全体の1.8%に留まっています。

一方日常生活において、「かゆみを実際に感じていない時にも無意識に患部に対して爪で掻く、こする、叩く、皮を剥くなどの患部を傷つける行動」の有無について尋ねてみたところ、回答者全体の90.6%が「日常生活で無意識に患部を傷つける何らかの行動をとっている」と回答しています。

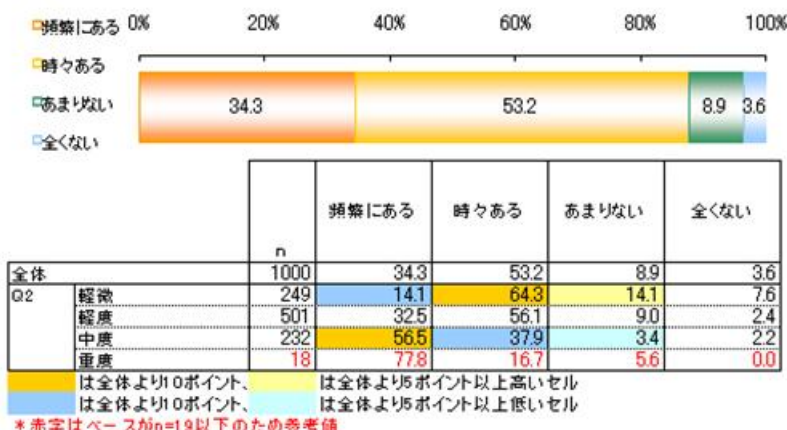
特に「無意識に患部を掻く」行動については、症状が「軽微」な回答者も78.4%が「無意識に患部を掻いている」と回答するなど、実際の症状の度合いに関わらず「無意識に患部を掻く」行為がアトピー性皮膚炎有症者女性にとって日常化している実態が伺えます。

【無意識に患部を傷つける何らかの行動をとっているか】



(有職者アトピー性皮膚炎有症者女性:1,000人)

【「無意識に患部を掻いている」自覚有無】



(有職者アトピー性皮膚炎有症者女性:1,000人)

2. 働くアトピー性皮膚炎有症女性共通の悩みは「メイク」、「ファッション」の制約

回答者全体の 65.2%が、「通勤時・勤務中にアトピー性皮膚炎が原因の不便さを感じている」と回答しています。
「不便さを感じる」要因のトップは「メイクが薄い・出来ないことに対して気がひける」(36.5%)。第三位の「ファッションが限られることに対して気がひける」(28.2%)と併せて、社会人としての身だしなみである「メイク」「ファッション」関連の悩みが「不便さ」の要因として高く挙げられています。
また「紙や書類を触ることで症状が悪化する」、「職場の空調が気になるが言い出せずに遠慮してしまう」ことについては、症状の度合いに関わらず回答割合が高く出ており、働くアトピー性皮膚炎有症者女性にとって共通の悩みと言えます。

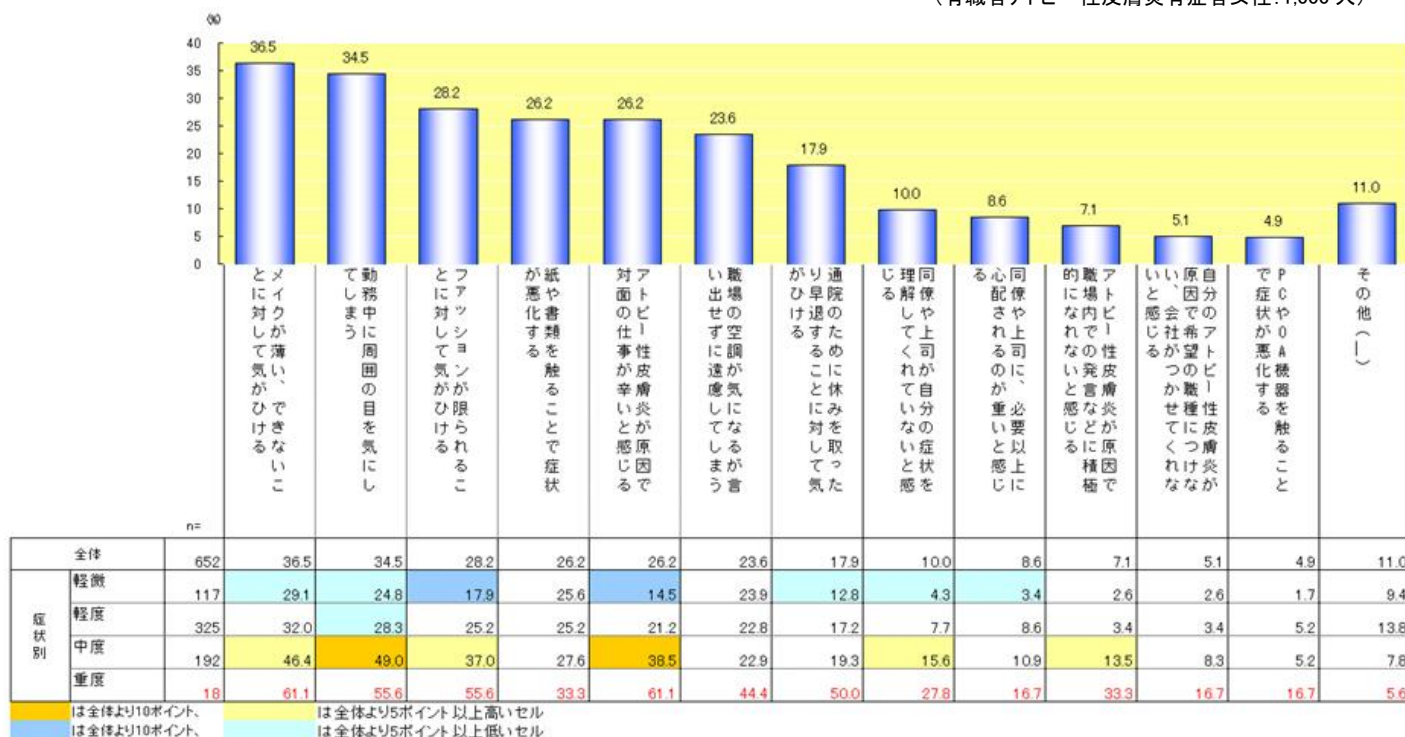
症状別に見たところでは、特に症状が「中度」～「重度」の回答者について、「勤務中に周囲の目を気にしてしまう」(症状中度:49.0%)、「対面の仕事辛いと感じる」(症状中度:38.5%)などの、アトピー性皮膚炎が原因で対人関連のストレスを強く感じている傾向が表れています。

【通勤時・勤務中にアトピー性皮膚炎関連で不便さを感じているか】



【不便さを感じる理由】(複数回答)

(有職者アトピー性皮膚炎有症女性:1,000人)



(通勤時・勤務中にアトピー性皮膚炎が原因の不便さを感じている有職者アトピー性皮膚炎有症女性:652人)

株式会社ネクスト

■ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社ネクスト 経営戦略本部 経営企画部 経営企画グループ 福澤、鈴木、桑波田
TEL : 03-5783-3604 FAX:03-5783-3737 E-MAIL:press@next-group.jp

3-1. アトピー性皮膚炎が原因で、 恋愛・結婚に関して「自分に自信が持てない」と感じている傾向

回答者全体の 60.5%が、「恋愛や結婚に関してアトピー性皮膚炎関連で不便さや引け目を感じている」と回答しています。

「不便さや引け目を感じる」要因のトップはアトピー性皮膚炎が原因で「自分に自信が持てない」こと(50.2%)。症状が「軽微」の回答者も、「自分に自信が持てない」(37.3%)ことを要因のトップに挙げています。

前項の「通勤時・勤務中に感じる不便さ」の中でも「メイク」や「ファッション」に限られることが要因として高い回答割合で挙げられていましたが、恋愛や結婚に関する不便さや引け目の要因でも「好みのファッションやメイクができない」こと(40.0%)が第二位に挙げられています。流行のメイクや色々な素材のファッションを気軽に楽しめないことは、20代、30代の働く女性にとっては様々なストレスの一因となっているようです。

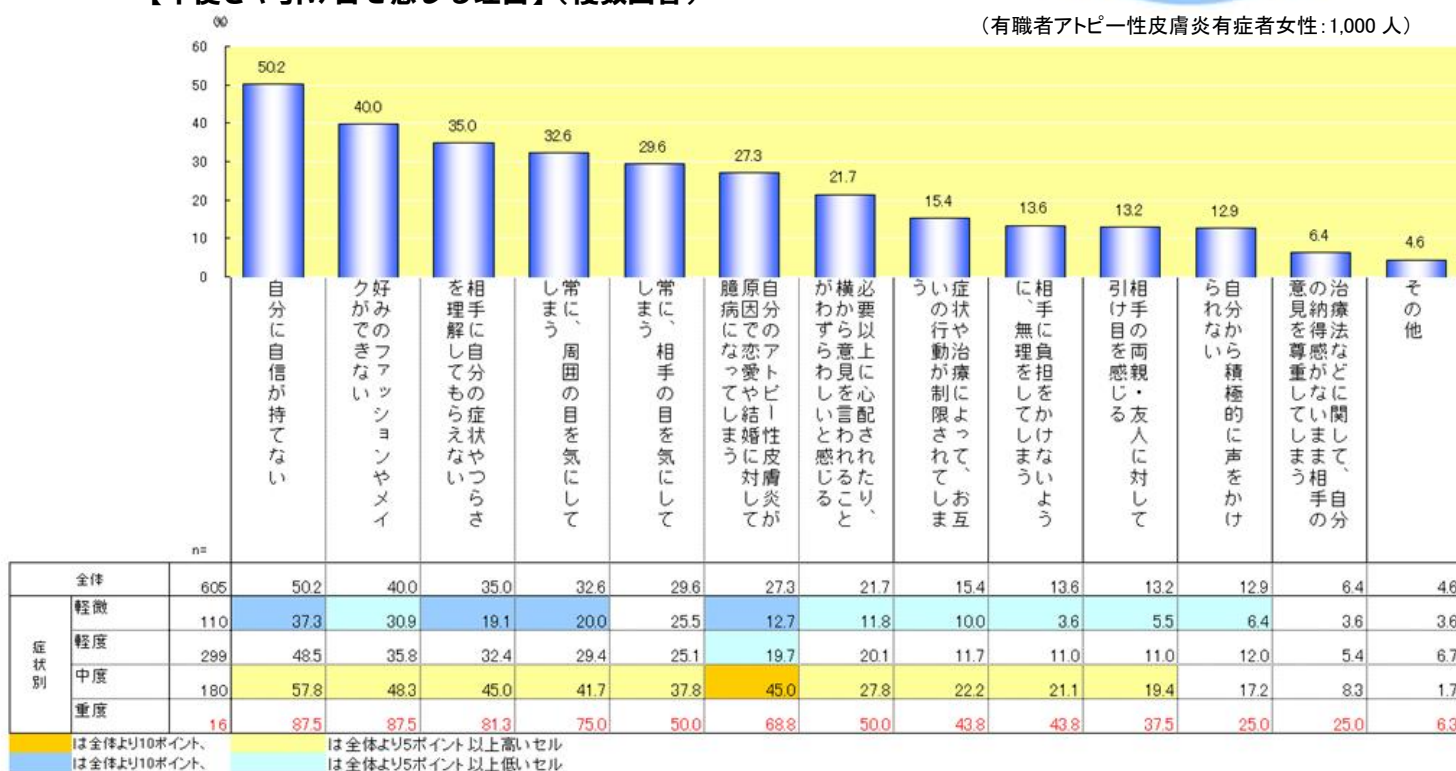
症状が「中度」～「重度」の回答者については恋愛や結婚に関する不便さや引け目を全般に高く感じている傾向が見られます。特に、症状が「中度」以上の回答者については症状が「軽微」～「軽度」の2.5倍以上の割合で、「自分のアトピー性皮膚炎が原因で恋愛や結婚に対して臆病になってしまう」と回答しています。

【恋愛や結婚に関してアトピー性皮膚炎関連で不便さや引け目を感じるか】



【不便さや引け目を感じる理由】(複数回答)

(有職者アトピー性皮膚炎有症者女性:1,000人)



(恋愛・結婚に関してアトピー性皮膚炎が原因の不便さや引け目を感じている有職者アトピー性皮膚炎有症者女性:605人)

株式会社ネクスト

■ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社ネクスト 経営戦略本部 経営企画部 経営企画グループ 福澤、鈴木、桑波田
TEL : 03-5783-3604 FAX:03-5783-3737 E-MAIL:press@next-group.jp

3-2. 子育て女性のストレスは、 「子どもがアトピー性皮膚炎にかかることへの不安」に集中

既婚・子供を持つ回答者に、「育児に関してアトピー性皮膚炎が原因で不便さや引け目を感じることもあるか」について回答してもらいました。

子供を持つ回答者全体の 73.3%が、「育児に関してアトピー性皮膚炎関連で不便さや引け目を感じている」と回答しています。

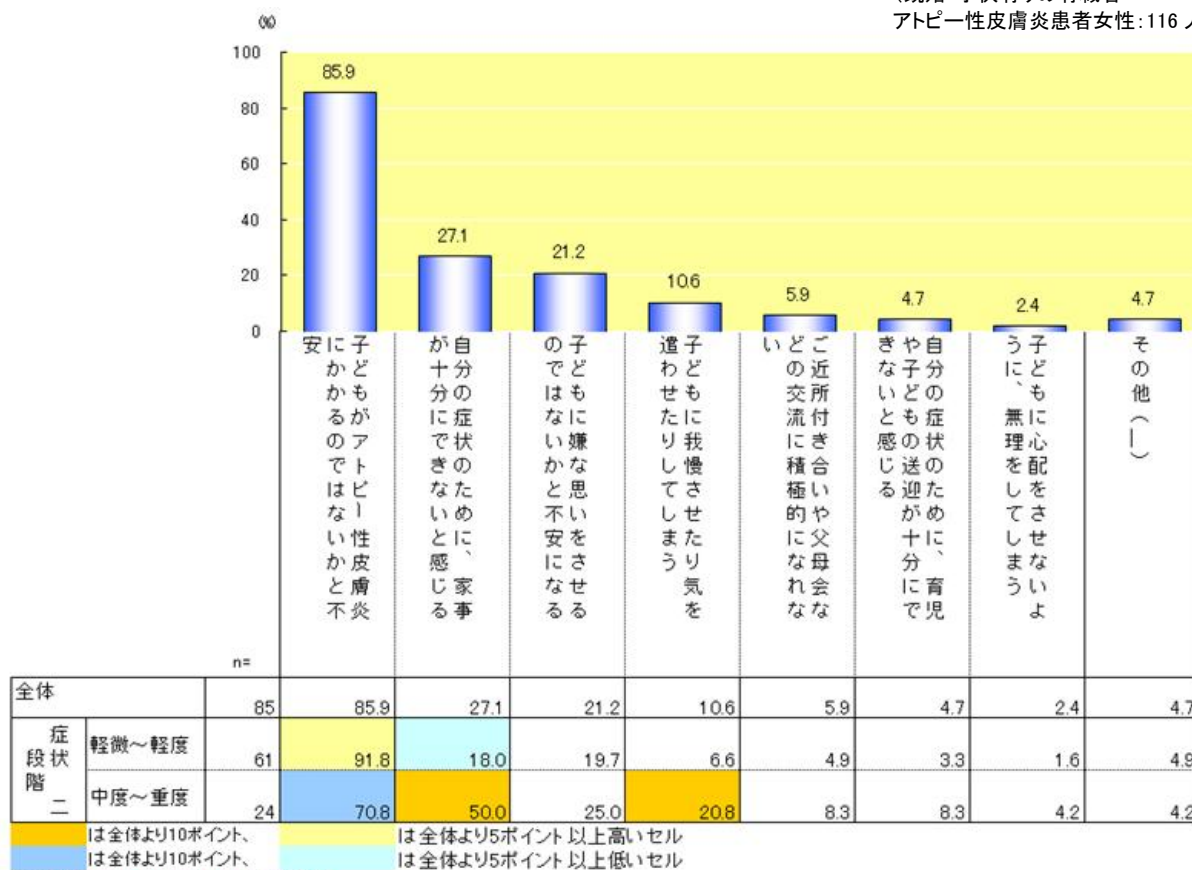
「不便さや引け目を感じる」要因のトップは「子どもがアトピー性皮膚炎にかかるのではないかと不安」なこと(85.9%)。症状が「軽微」～「軽度」の回答者についても、回答理由の 91.8%が「子供がアトピー性皮膚炎にかかるのではないかと不安」なことに集中しています。

自身がアトピー性皮膚炎の経験を持つ回答者にとって、「子供への症状の遺伝」は自身の症状の改善状況に関わらず、大きな不安要因となっているようです。

【育児に関してアトピー性皮膚炎関連で不便さや引け目を感じるか】



【不便さや引け目を感じる理由】(複数回答)



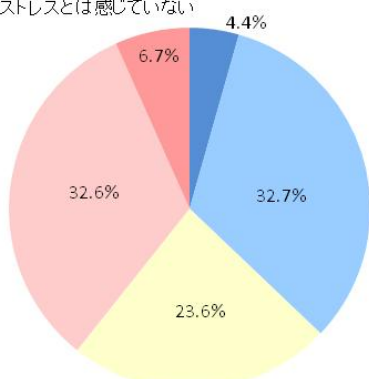
(既婚・子供有りの有職者
アトピー性皮膚炎患者女性:116人)

(育児に関してアトピー性皮膚炎が原因の不便さや引け目を感じている有職者アトピー性皮膚炎有症者女性:85人)

4-1. QOL(生活の質)低下にアトピー性皮膚炎の症状から来るストレスが大きく関係

【アトピー性皮膚炎由来のストレス自覚レベル】

■ 重いストレスになっている ■ ストレスになっている
 ■ どちらともいえない ■ あまりストレスとは感じていない
 ■ 全くストレスとは感じていない



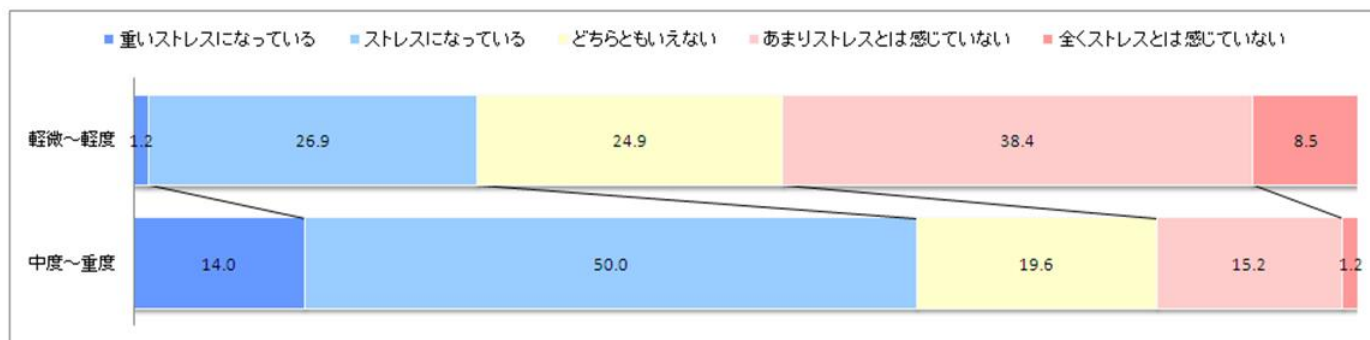
(有職者アトピー性皮膚炎有症者女性:1,000 人)

アトピー性皮膚炎が原因で生じる日常生活や人間関係の不便さは、どの程度ストレスとなっているのでしょうか。

回答者全体の 37.1%が、「ストレスになっている」と回答しています。

症状別に回答割合を比較したところ、症状「軽微～軽度」の回答者と症状「中度～重度」の回答者間で、自覚ストレスレベルに大きな差異が表れています。

症状「中度～重度」の回答者については、64.0%が「アトピー性皮膚炎が原因で生じる日常生活や人間関係の不便さがストレスとなっている」と解答しています。



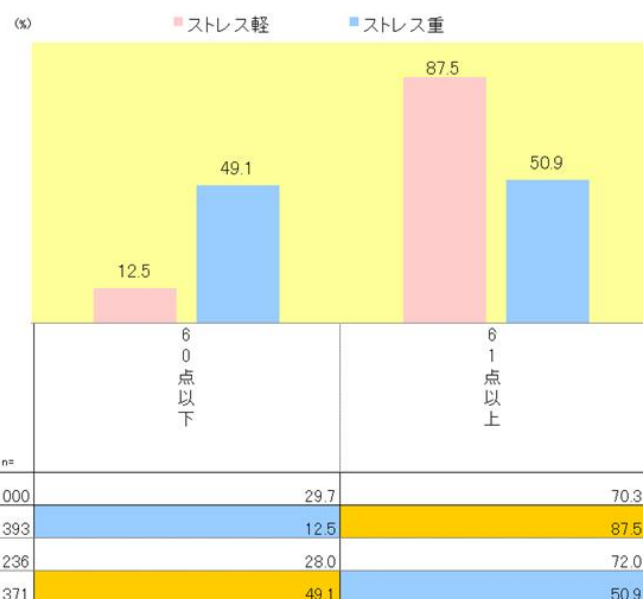
(有職者アトピー性皮膚炎有症者女性:1,000 人)

QOL (Quality of Life＝生活の質に関する充実感や満足感)について、回答者に現状の自己評価に基づく 100 点満点での自己採点を行っていただきました。

【QOL 自己採点結果】

アトピー性皮膚炎関連の自覚ストレスレベルによって、QOL 自己採点数に大きな差異が表れています。

ストレス自覚レベルを「あまりストレスとは感じていない」、「全くストレスとは感じていない」と回答した回答者（以下、ストレスレベル「軽」の回答者）のうち 87.5%が自己の QOL を 61 点以上と採点しているのに対して、「ストレスになっている」、「重いストレスになっている」と回答した回答者（以下「ストレスレベル「重」の回答者」）は 49.1%と半数近くが自己の QOL を 60 点以下と採点しています。



		n=	60 点以下 (%)	61 点以上 (%)
ストレスレベル	全体	1000	29.7	70.3
	軽	393	12.5	87.5
	どちらでもない	236	28.0	72.0
	重	371	49.1	50.9

■ は全体より10ポイント、 ■ は全体より5ポイント以上高いセル
 ■ は全体より10ポイント、 ■ は全体より5ポイント以上低いセル
 ※赤字はベースがn=19以下のため参考値

(有職者アトピー性皮膚炎有症者女性:1,000 人)

株式会社ネクスト

■ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社ネクスト 経営戦略本部 経営企画部 経営企画グループ 福澤、鈴木、桑波田
 TEL : 03-5783-3604 FAX:03-5783-3737 E-MAIL:press@next-group.jp

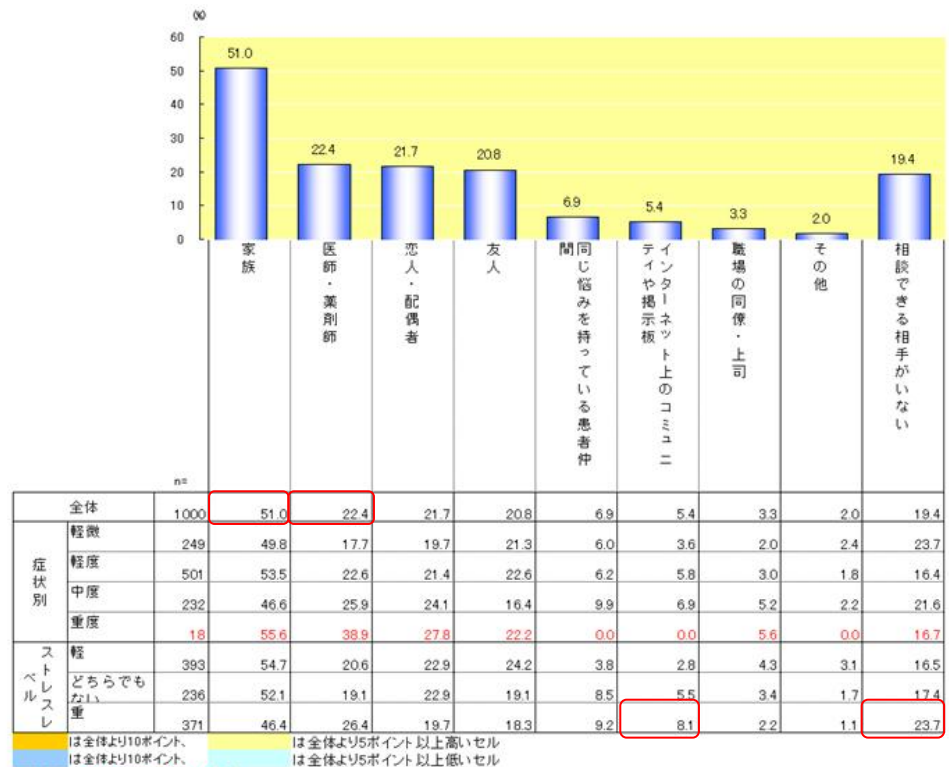
4-2. 「アトピー性皮膚炎に関する悩みやストレスを解消できていると思う相談相手」は、「家族」が 51.0%、「医師・薬剤師」が 22.4%。

QOL(生活の質)低下とも密接な関係にあるアトピー性皮膚炎に関する悩みやストレスですが、そうした悩みやストレスは、誰を相談相手として解消できているのでしょうか。

「アトピー性皮膚炎に関する悩みやストレスを解消できていると感じる相談相手」としては「家族」(51.0%)がトップとして挙げられています。第二位の「医師・薬剤師」(22.4%)とは回答割合に二倍近くの差異を生む結果となりました。

ストレスレベル「重」の回答者については、「相談できる相手がいない」とする回答割合が 23.7%と高めの傾向を示しています。一方で相談相手として「ネット上のコミュニティや掲示板」についてはやや高い利用傾向を示しています。

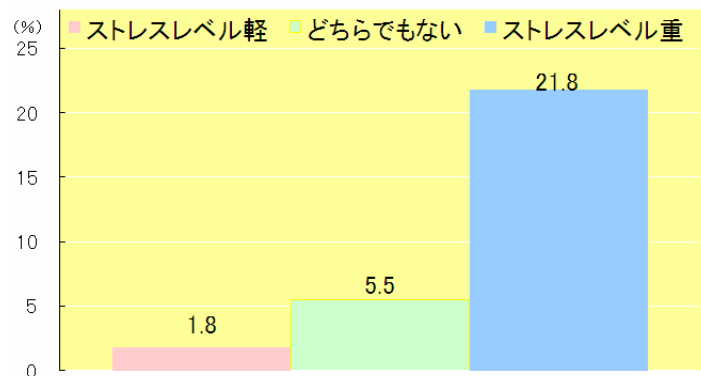
【アトピー性皮膚炎に関する悩みやストレスを解消できていると思う相談相手】



(有職者アトピー性皮膚炎有症者女性:1,000人)

【メイクやスキンケアについて相談できる相手がいないと感じる割合】

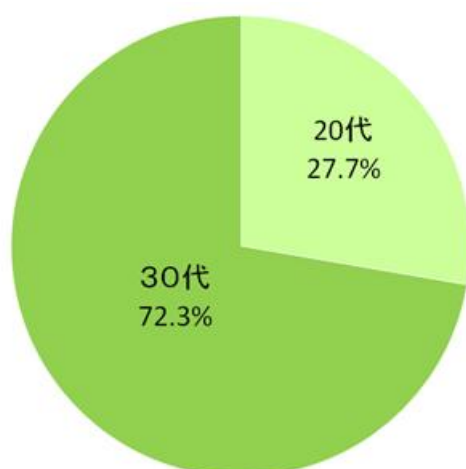
ストレスレベル「重」回答者は「メイクやスキンケアについて相談できる相手がいないと感じる」割合についてもストレスレベル「軽」回答者の 12 倍と非常に高い傾向を示し、身近な周囲に悩みやストレスを解消できていると感じる相手が少ないことが伺えます。



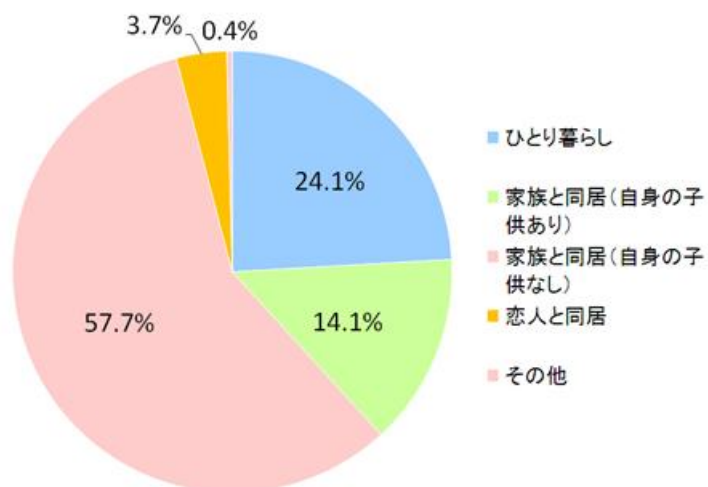
(有職者アトピー性皮膚炎有症者女性:1,000人)

【参考情報】回答者属性

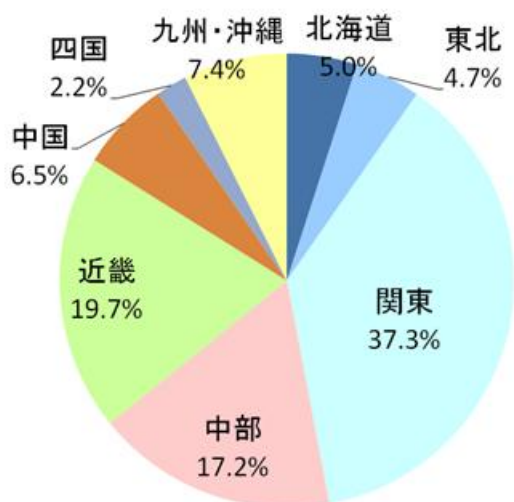
【年代】



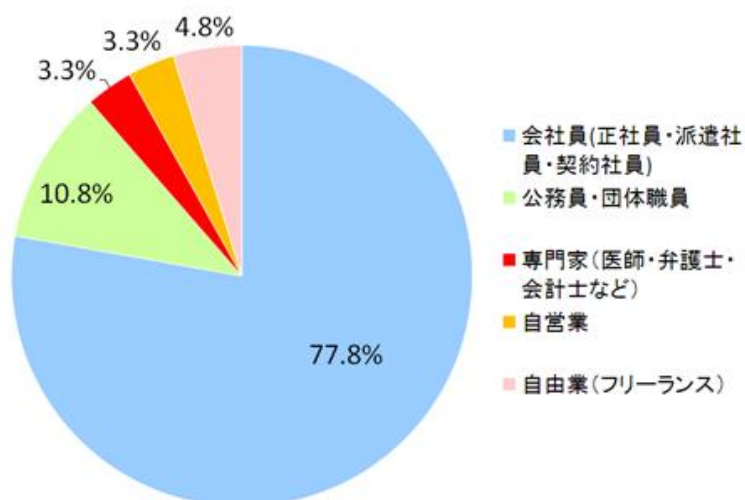
【家族構成】



【居住地域】



【職業】



■株式会社ネクストについて

社名：株式会社ネクスト

証券コード：2120 東証第一部

設立：1997年3月12日

代表者：代表取締役社長井上高志

資本金：1,992百万円

所在地：〒108-0075 東京都港区港南2-3-13 品川フロントビル

連絡先：電話：03-5783-3600(代) FAX:03-5783-3737

URL：http://www.next-group.jp/

事業内容：■不動産情報サービス

- ・日本最大級の住宅・不動産情報ポータルサイト『HOME'S』の企画・運営
- ・賃貸物件情報ポータルサイト「HOME'S賃貸」の企画・運営
- ・売買物件情報ポータルサイト「HOME'S不動産売買」の企画・運営
- ・新築分譲マンション情報ポータルサイト「HOME'S新築分譲マンション」の企画・運営
- ・新築分譲戸建住宅情報ポータルサイト「HOME'S新築一戸建て」の企画・運営
- ・不動産投資情報ポータルサイト「HOME'S不動産投資」の企画・運営
- ・注文住宅会社情報ポータルサイト「HOME'S注文住宅」の企画・運営
- ・大手注文住宅会社情報ポータルサイト「家づくりネット」の企画・運営
- ・リフォーム会社情報ポータルサイト「HOME'Sリフォーム」の企画・運営
- ・高齢者施設・住宅情報ポータルサイト「HOME'S介護」の企画・運営
- ・「HOME'S引越し見積もり」の企画・運営
- ・Web広告プロモーション、バナー広告の企画提案

■地域コミュニティ

- ・地域コミュニティサイト「Lococom」の企画・運営

■その他

- ・金融情報ポータルサイト「MONEYMO」の企画・運営
- ・アトピー有症者向けケータイサイト「eQOLスキンケア」の企画・運営
- ・賃貸入居者向け家財保険「HOME'Sマイルーム保険」の企画・運営
- ・店舗総合保険「HOME'Sテナント保険」の企画・運営

関係会社：株式会社レンターズ、株式会社リッテル